



あらい えみ
荒井 恵美さん(下八重原西部)

東御市で好きなところは、朝通学路から見る朝日の景色です。サンテラスホールも思い出の場所。北御牧と東部はもっと出会いがあって欲しいと希望します。これからどんどん交流し、お互いを知り、そして一体感をもっと感じる市になって欲しいです。

「中学生の交流から」

今年2月、合併直前に行われた合併記念コンサートの、「TOMeコンサート」において、私の所属する北御牧中学校吹奏楽部と東部中学校吹奏楽部の合同演奏が行われた。オーケストラ並の大編成演奏は、私の心に一生消えることのない強い印象を与えた。それと同時に東部町と北御牧村の合併への期待感も大きくふくらんだように思える。

「中学生の交流から」なぜ私がこの言葉を題名にもってきたのか。それは、市内に二校しかない中学校が一番交流しやすいと思ったからだ。部活を通じて、練習試合をしたり、合同演奏をするなどして、中学生は両校共に一番身近な存在であると考えた。ということでまず中学生が、両地区の結び役となって、市民の一員として交流していくことが好ましいのではないだろうか。そこで、いくつか交流内容についての例を挙げてみようと思う。

まず一つ目に考えたのは、「お互いの学校で一日体験学習をすること」。目的は、お互いの学校の生活環境や校風を見学することで、自校の学校生活向上をはかること。このような機会があれば、確実に友達も増え、自分を主張する力も付くと思う。これに関連してだが、生徒だけでなく先生方も、互いの学校で授業を受けもってみたいはどうか。北中での少人数授業から、東部中での大人数授業まで、同じ市内でこんなにも人数の差が大きい学校は滅多に無いと思うので、このような環境を先生方も利用し、経験をつんでみるのも良いと思う。

次に考えたことは、「北中の学校行事である北御牧地区一周駅伝大会に東部中にも参加してもらうこと」。目的としては北中の伝統ある学校行事に参加してもらうことで、東部中生と北中生の親睦を深めることだ。東部中からは選抜で一チームほど参加してもらって、私達北中生と一緒に旧北御牧の地を、共に汗を流して走りぬけ、東御市のさわやかな風を体全体で感じてほしいと思う。

このように考えてみると、中学生の交流はできそうな事がいくつかあるようだ。これから市になったことをきっかけに、両校がどんな交流を行っていくのだろうか。私は、その日が来るのがとても待ち遠しく感じる。

市になって良かった。そう心から感じることでできる日が早く訪れることを私は願っている。



しみず ともみ
清水 友美さん(新屋)

東御市で好きなところは、芝生公園です。緑に囲まれ、四季折々の顔を見せてくれます。特に親水公園は水に親しむのいいですね。最近、ごみが通学路やいろいろなところに落ちています。きれいな市になって欲しいので、ごみは捨てないようにして欲しいです。

「東御市に抱く夢」

私は、4月から東御市として新たな出発をした。この市民の誰もが平和で美しい、市を目指していると思う。私もそうだ。だが平和で美しい市にするために、市民全体で考えたいことが3つある。一つめ、互いに尊重しあえること。一人一人、互いに全ての人を大切にすること。二つめ、市のキャッチフレーズ「さわやかな風と出会いの元気発信都市」に基づいた市をつくることを、市民全体がこころがけること。例えば「さわやかな風」。毎朝、元気よく誰にでもあいさつをするだけでも、皆なんとなく元気が湧いてきて「元気発信都市」にもつながる。3つめ行動をすること。誰でも「何かしたい。」など口で言うのは楽だ。言うならば、言うは易し、行うはカタシ。実際に行動をして初めて、「人の役にたった」と言えるのではないか。以上、三つのことを守り、市民のみなさんにも考えていただきたい。私はこれから、どんなことでもいい、一日一つ「いいこと」をしようと、新市になった今、胸に刻む。そして“実行”しようと。でも、時には“失敗”もするだろう。前、小学校のときの担任の先生が何か失敗をすると、「神様ではないのだから失敗なんて誰にでもある。」と言ってくれた。そう。でも私は思う。一人きりでは、失敗をたくさんすると思うけど、市民全体が“協力”したら、「神様」に一步近づけるんじゃないかと。そして何事にもチャレンジ精神を大切にしよう。失敗など恐れなくていい。手さぐりでもいいから、進めばいい。どこかにぶつかることなど、おそれなくていい。自分の気持ちを思いっきり出していい。楽しいときは笑って、悲しい時は泣く。そんなスナオで純粋な気持ちをみんなが、もつように。市もスナオで純粋な東御市になるから。

「当たり前の事を当たり前」

それをサブテーマにしたい。失敗したら、もう一度やってみる。できるまでやること。悪かったな、と思ったらすぐあやまる。常識なのに、いつのまにできなくなってしまったのだろう。そんな事をできる市にしたい。

「東御市」とは、市民全員にとって大切だけど、私にとっては少し大切さが高いのだ。というのも私的だが、私は、旧東部町最後の小学校卒業生で新市最初の中学校入学生だ。全ての記念のこの市へ、市民のみなさんのよりよい市づくりのための、「協力」と「行動」を期待しています。そして私自身も、「協力」し「行動」することをちかい、新市の目標とします。



つちや ゆり
土屋 祐莉さん(中屋敷)

東御市で好きな場所は、滋野小学校。滋野小学校にいる先生や友達はみんな好きです。思い出もたくさんあります。昨年の運動会は特に記憶に残っています。皆で力を合わせたこと、そして短距離走を頑張って走りました。

「東御市になって思う事」

私は、東御市にこんな市になってほしいと思う事が三つあります。一つ目は、お年寄りから子供、障害のある人、観光にくる人でも、みんな仲良く交流できる場がほしいことです。東御市には、すでに大きな公園・広場がありますが、もっと公園・広場を作ればいいと思います。そうすれば、旧東部町の人たちも、旧北御牧村の人たちも、集まってくれるし、イベントもたくさんやればお年寄りから子供、障害のある人、観光にくる人でも仲良く交流できると思います。二つ目は、ゴミの少ない市にしたいです。今、滋野小学校では月一回、滋野クリーン大作戦といって、登校中にゴミがあつたら拾う活動をしています。そうするとゴミがたくさん集まるので、市内の小、中学校でも、月一回ぐらいゴミを拾う日を決めてゴミを拾えばいいと思います。その他にも、ポスター描きをしたり、空缶を捨てないように呼びかけをしたりすればいいと思います。三つ目は、今以上に緑あふれる市にしたいです。今も東御市には花や緑がいっぱいあってとてもきれいだけれど、まだ花が植えられないのに植えてない所もあります。そういう所に明るい色の花を植えたり、冬になっても緑がたえないくらい、花や木をいっぱい植えたいです。道のはじめにも花を植えれば、車で通る人も楽しいと思うし、ゴミもへると思います。東御市には林、森もたくさんありますが、その中の木を切らないようにして、もし、絶対切らないと困るときは、その近くに苗を植えればいいと思います。一つ目の、仲良く・交流のイベントでは、農業の体験コーナーなどをやりたいです。他にもみなさんの意見を取り入れていけば、もっと良い市になると思います。

今、東御市に住んでいる人、これから東御市に引っ越してくる人、観光にくる人、みんなが東御市のことを「キレイ」「楽しい」「みんな元気」と言ってくれる市にしたいです。

最後に、私からお願いがあります。

- 一、自然を壊さないで下さい
- 一、自然を汚さないでください
- 一、自然を大切にしてください

どうか、みなさん守ってください。

私も、良い市になるように、がんばります。



未来を担う子どもたちから

東御市へのメッセージ

東御市発足記念式典意見発表

7月17日に行われた東御市発足記念式典において、東御市に期待することと題し土屋祐莉さん、清水友美さん、荒井恵美さんの3人の皆さんから意見発表をいただきました。この意見発表は、小学校高学年と中学生を対象に市報などで募集した結果、合計668人の応募があり、一次選考後、二次審査を行って3人の作品が選ばれたものです。ここでは意見発表していただいた3人の皆さんの内容(全文)をお伝えします。また、市内で好きな場所や市への要望も聞きました。